

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-70と前期に比べ4ポイント悪化傾向を弱めました。売上額は4ポイント、収益は7ポイント減少傾向を弱めました。価格面では、販売価格は2ポイント下降傾向を弱め、仕入価格は前期適正から12ポイント上昇傾向を強めました。在庫は6ポイント不足感を強めました。資金繰りは6ポイント窮屈感が強まりました。残業時間は17ポイント減少傾向を弱め、人手は横ばいとなりました。設備の状況は7ポイント不足感を弱め、設備投資を実施した先は、事業用土地建物などで10%と、前期に比べ3ポイント増加しました。

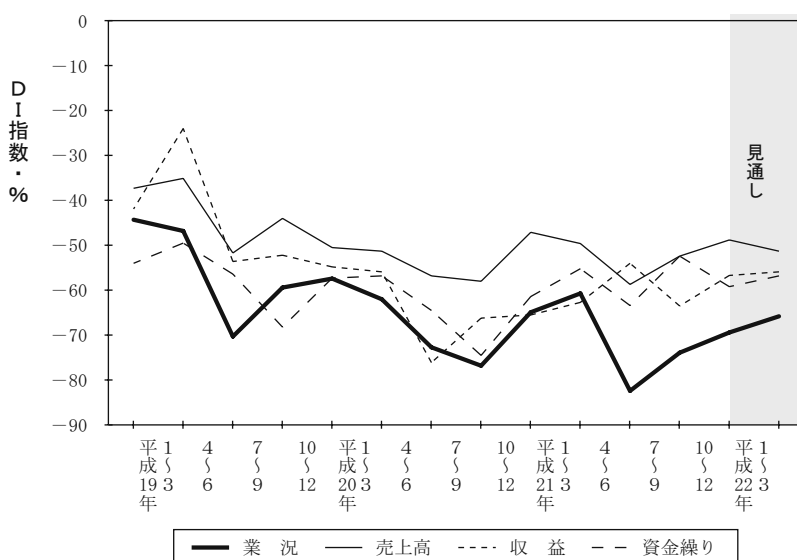
来期の見通し

業況は-66と今期に比べ、さらに4ポイント悪化傾向が弱まるとみえています。売上は2ポイント減少傾向が強まるとみえています。収益は1ポイントわずかに減少傾向を弱めそうです。価格面では、販売価格は横ばい、仕入価格は10ポイント上昇傾向を弱めるとみえています。在庫は横ばいとなりそうです。資金繰りは2ポイント窮屈感が弱まるとみえています。残業時間は12ポイント減少傾向が強まり、人手は4ポイント過剰感が強まりそうです。設備の状況は2ポイント不足感が弱まり、設備投資については、事業用土地建物などで7%の実施予定とし、今期に比べて3ポイント減少するとみえています。

調査員のコメント

- 商店街そのものの集客が低下しているため、来店客の絶対数が減少している。(ラーメン店)
- 厳しい業況は変わらず、多少の経費をかけても広告・宣伝の強化が必要である。(とんかつ店)

景況の推移



主な指標の動き

